

# くらよし

June  
2010

6

平成22年6月号

No.1384

今月の特集：図書館に行ってみよう

「早く帰って読みたいな」

かりるところ

## CONTENTS

- 図書館に行ってみよう ……2～7
- 「小川氏庭園」が国登録記念物に  
新登録されました ……8
- ハート・バリアフリー ……9
- インフォメーション  
・プラス ……10～13
- インフォメーション ……14～18
- レッツ！介護予防/  
特別医療費助成制度 / 生涯学習 ……19
- あんしんファイル ……20～21
- 出かけてみよう ……22～23
- 市長コラム / シナプロ韓国 ……24
- まちかどピンナップ ……25
- 若者の定住に向けて / 人口 ……26

倉吉市立図書館が、文部科学大臣表彰を受賞しました。

特集

# 図書館に

# 行ってみよう

倉吉市立図書館  
文部科学大臣表彰受賞

倉吉市立図書館が、4月23日(金)(子ども読書の日)に、「子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受賞しました。これは、図書館が、子どもの読書活動への関心と理解を深め、積極的な読書活動を促す優れた実践を広く行っていることが認められたものです。  
今回は、そんな図書館の、活動や情報を紹介します。

## 図書館で子育て？ 本を借りるだけが図書館じゃない！

### 子どもの読書活動を応援します

子どもの読書離れ。  
落ち着きがなく、人の話を聞けない子ども。  
そんな悩みを持つ親に、図書館は、読書を通して、親子のコミュニケーションを提案します。



倉吉市立図書館

TEL 47-1183 / FAX 47-1180

倉吉市立せきがね図書館

TEL / FAX 45-2523

蔵書数：211,791冊

目 標：市民だれもが気軽に利用でき、暮らしに役立つ図書館を目指します。

### ブックスタート

6か月児、1歳6か月児健診の時に、絵本のプレゼントと、ボランティアによる読み聞かせの指導をしています。絵本は、子どもの興味が向いたものを持って帰れるように、3冊から選べます。

「6か月児健診時に本を受け取ってどうでしたか？」

「今日初めて読み聞かせをしても良かったら、子どもが反応していた。家に帰ってもやってみよう、」  
「普段は、どの本を選んだらいいのか分からないので、本を選んでもらって助かった」、  
「5年前のお兄ちゃんのとくに比べると、3冊から選べるようになっていてよかった」

### ★★★ブックスタートの成果★★★

保護者に行ったアンケートでは、絵本を毎日読み聞かせている人の割合が、6か月児健診時の17%に対して、1歳6か月児健診時では、35%と大幅に増えています。

また、1回に読む本の数も、6か月児健診時に比べて、1歳6か月児健診時の方が多しなど、子育て世代に対して成果を挙げています。

### プレブックスタート

母子健康手帳を受け取る時に、ブックスタート案内を絵本リストに付けて配っています。

## 「読み聞かせを通して、子どもと楽しいひと時がもてます」

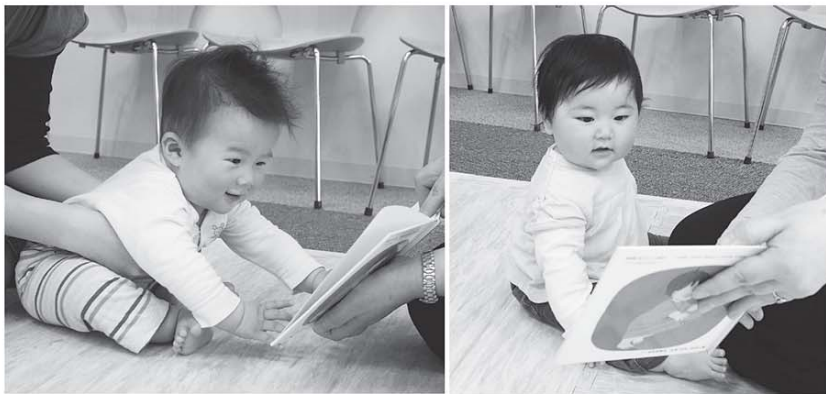
松田さん(読み聞かせボランティア)



▲ あかちゃんのおはなしかいの様子

「うえの子のときは、ブックスタートでもらって帰った本を、ボロボロになるまで、何回も読みました」

ブックスタート(6か月健診時)で、本を受け取った母親



▲ 6か月児でも、本に興味を示しています(ブックスタート)

### 子どもの読書活動への応援その② 読み聞かせサービス

ブックスタートをサポートするため、職員や読み聞かせボランティアによるサービスを、年齢別に行っています。

1回が20分程度と、子どもも最後まで集中して聞くことができます。予約の必要はありません。

### あかちゃんのおはなしかい

0歳から参加できるお話し会です。毎月2回開催しています。絵本だけでなく、手遊び歌など、子どもの興味を引く工夫がされています。聞くだけでなく、読み方も参考になります。

——参加したお母さんに感想を聞きました

「6か月児健診のブックスタートのときに、図書館の人に紹介されて参加しました。場所もきれいだし、赤ちゃん向けの本を読んでもらえるので、家で読むときの参考にしています」

### おはなしかい

3歳以上を対象にしたお話し会です。毎月3回開催しています。むかし話をきくかい

年齢の制限はなく、毎月1回開催しています。

——参加した小学生に感想を聞きました

「小さいときに、親に本を読んでもらったので、今でも本を読んだり、聞いたりすることが好きです」、「小学校でも読み聞かせの時間があります。今日は、参加してよかったです」

★★★読み聞かせサービスの成果★★★

個人貸し出し冊数は、連続して伸びています。

年齢的に見ると、幼児などの保護者となる30歳代が突出して多く、保護者層の読書活動に対する意識の高まりがみられます。

子どもの読書活動への応援その③

ヤングアダルト事業

館内にヤングアダルト(中・高校生)向けの図書を充実させたり、中・高校生ボランティアに、「としよかんニユースヤングアダルト版」を作成してもらったりしています。

★★★ヤングアダルト事業の成果★★★

中・高校生が主体的にニユースの作成に関わり、同世代に情報を発信しています。中・高校生の貸し出し冊数も、全体的に増加しています。

【編集ボランティア募集】

図書館では、「としよかんニユースヤングアダルト版」の編集を手伝ってくれる、中・高校生ボランティアを募集しています。本が好きな人、編集してみたい人大歓迎です。

▼あかちゃんのおはなしかい



始め、子どもは保護者に、ピタッと寄り添って、話を聞いています



ボランティアさんのむかし話を、集中して、じっと聞く小学生(むかし話をきくかい)



少し慣れてくると、興味のあるものに向かって、自然と動き始めます。

あかちゃんのおはなしかいでは、途中に、絵本以外の時間が、上手に取り入れてあります。



「読み聞かせってなんですか？」

「親子のコミュニケーションの一つの方法です」

読んで欲しい本を子どもが親へ持って行く。

その本を親が読んであげる。

子どもは安心してその話を聞く。

毎日同じ本でも構いません。子どもと親と一緒に楽しめる時間をつくること。それが、親子のコミュニケーションになります。

それに、人の話しを聞く姿勢が身に付くということも、あるかもしれませんね。

あとは、読み聞かせの会などに参加することによって、小さいころから

加えることによって、小さいころから

ら集団の中に入っていくという、貴重な体験もできます。

「いつから始めたらいですか？」

「子どもに読んであげたいと感じたときが始まり」

生まれてから数年間は、大好きな親にだっこされるだけで心地よさを感じています。そんな幼いときからでも、耳元でささやくような親の柔らかな声を聞くことで、同じ時間を持つ喜びや、幸せなひと時を過ごした体験が、心や体に染み渡って、きっと子どもにとっても、一生の宝物になるのだと思います。

「どんな本を選んで読み聞かせをしたらいいですか？」

「まずは興味に合わせて、親のお気に入りから良いのでは」

赤ちゃんは自分で絵本を選べないので、まずは親が読んであげたい絵本からいいと思います。

図書館にある年齢別のおすすめ絵本リストや、おはなし会で気に入った絵本を試したり、お友達の声を聞いたり、いろいろ参考にするのもいいですね。



何で、読み聞かせをするの？

教えて、読み聞かせ

——読み聞かせボランティアの松田さんに聞きました

# どれくらいの人が利用しているの？

## 登録者数と貸出冊数を見てみよう

※数字はすべて平成20年度のものです

年齢別登録者数および貸出冊数の状況(団体利用を除く)

年齢別区分	登録者数	割合	貸出冊数
80歳～	470人	1.6%	4,011冊
70歳～79歳	1,067人	3.6%	17,333冊
60歳～69歳	2,163人	7.2%	44,519冊
50歳～59歳	3,468人	11.6%	53,648冊
40歳～49歳	4,196人	14.1%	57,019冊
30歳～39歳	5,097人	17.1%	84,419冊
19歳～29歳	7,113人	23.9%	42,791冊
16歳～18歳	1,941人	6.5%	7,119冊
13歳～15歳	1,777人	6.0%	11,840冊
7歳～12歳	1,995人	6.7%	41,495冊
～6歳	507人	1.7%	20,246冊
合計	29,794人 (うち倉吉市民21,316人)	100%	384,440冊



表の登録者数をみると、市民の約4割が登録していることとなります。

年齢別登録者数は、20代の登録者が全体の23.9%と最も多く、続いて小・中・高校生(7歳～18歳)が合わせて19.2%、30代が17.1%と続いています。

貸出冊数では、幼児などの保護者世帯が多い30代が、突出して多くなっています。また、市民一人当たりの貸出冊数は、年間約7冊、登録者一人当たりの貸出冊数は年間約13冊となります。

利用登録・貸出は、0歳からできます



# コーナー紹介

図書館では、いろんなコーナーを作って、必要な情報が見つけやすくしています。

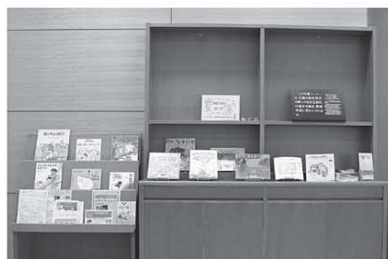
## 児童コーナー(左手前奥)

丸い窓の前に、マットやクッションが置かれ、写真右側には児童書、左側には紙芝居がずらりと並んでいます



## 季節の絵本コーナー(左手前奥)

イベント関連や、季節の絵本を展示しています



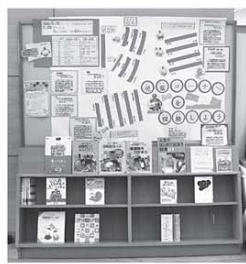
## 新着図書コーナー(入口右側)

新着図書を紹介しています。



## 展示コーナー(入口左側)

どんなイベントや行事があるのか、わかりやすく展示されています。



## ビジネス支援コーナー(入口右側)

仕事に役立つ情報を集めたコーナーです。



# 知って便利、利用お役立ち情報

図書館は、本の貸し出しや返却などの場面で、利用者が利用しやすいように、いろんな工夫をしています。

## 本を探す

### ① 検索コーナーで探す

検索コーナーでは、館内や関係機関の蔵書検索が、簡単にできます。



### ② ホームページで探す

倉吉市立図書館のホームページ内の「資料・検索」を使うと、家からでも検索、貸出予約をすることができます。貸出中の本でも予約することができます。本が準備できると、図書館から電話やメールでお知らせします。

### 探している本が

#### 見つからないときは

リクエスト(よやく)カードに書いてお申し込みください。購入したり、ほかの図書館から借りたりして、できる限りご要望にお応えします。また、リクエストの申し込みは、図書館ホームページの、「本に関するお問い合わせ」からでもできます。

## 本を借りる

貸出は、未返却のものを含めて、1人10冊まで借りることができます。貸出期間は、2週間です。



館内には本専用のカートがあります。選んだ本を入れてください。



大きな荷物、貴重品はロッカーにしまっておいて、ゆっくり本を選んでください。

## 本を返す

借りた本は、図書館または、ブックポスト(返却用ポスト)へ返却してください。倉吉市立図書館で借りた本は、せきがね図書館へも返却できます。

### ブックポストの場所

- ・市役所市民課前
- ・パールタウン中央広場
- ・スーパーマーウ(A・マルワ)入口

## そのほか

### レファレンス・サービス

日常生活の中さまざまな疑問から、個人の調査研究のお手伝い、仕事に関する専門的な資料の問い合わせなど、広範囲な相談に応じて、関連する資料や情報を探して提供します。

### AV館内視聴

ビデオ・CDなどの視聴覚資料を利用できます。

### 障がい者サービス

目の不自由な人のために、点字図書、録音図書の貸し出しをしています。郵送での貸し出しもできます。また、希望の本を朗読する、対面朗読サービスも行っています。

### 拡大読書機

拡大読書機を使えば、字が見えにくい人でも、気持ちよく本を読むことができます。



## 「生涯学習センター」を知っていますか？

生涯学習センターは、市民の生活と学習を支援する倉吉市の生涯学習の拠点施設です。倉吉交流プラザの1階が図書館、2階が生涯学習センターとなっています。

生涯学習センターには、市民交流室、視聴覚ホール、研修室などがあり、いろいろなイベントや会議に利用されており、子どもの遊び場(子ども交流室)も備わっています。

※市民交流室は、6月1日(火)から、国勢調査の実施本部として利用するため、自習室としては利用できなくなりまので、ご理解とご協力をお願いいたします。



# 読書活動推進フォーラム2010開催

とき：6月20日(日) ※託児あり 6月10日(木)までに電話で申し込んでください  
 ところ：倉吉交流プラザ 視聴覚ホール ※参加無料

午前10時30分～正午

## 第1部 講演会

【講師】

黒井 健 さん(絵本作家)

《プロフィール》



絵本作家、イラストレーター。主な絵本作品に「こんぎつね」「手ぶくろを買いに」(新美南吉作・偕成社)、画集に「雲の信号」(宮沢賢治/詩・偕成社)など。絵を担当した本は200冊を超える。

【演題】

「絵本を描く楽しみ」

【定員】

150人(※入場整理券が必要です)

※整理券は、倉吉市立図書館、せきがね図書館で配布します。遠隔地の人は取り置きをしますので、図書館へご相談ください。

★講演会終了後サイン会を行います。

午後2時～3時

## 第2部 絵本を歌おう 童謡コンサート

【テーマ】

「お話から生まれ た歌 歌から生まれたお話」



【出演】

うた…西岡 恵子さん

ピアノ…三好 芳子さん

【内容】

紙芝居を見ながら、なつかしい昔話を、たくさんのお話にして楽しみます。また、童謡をもとにした創作のお話を、歌に合わせて味わいます。

【定員】

150人

◎当日のボランティアを募集しています。  
 倉吉市立図書館 ☎47-11183 / ☎47-11180

# 2010 国民読書年

2010年は、国民読書年です

キャッチフレーズ

じゃあ、読もう

読書は、我々の人生をより豊かなものにするだけでなく、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で、欠くことのできないものです。

## 図書館を利用しよう

図書館には、有益な情報や教室・講座などがたくさん詰まっています。本の良さ、図書館の良さを、もっと多くの人に知ってもらい、図書館に行つたことがない人も、普段あまり利用しない人も、ぜひ活用していただきたいと思えます。

子どもころに図書館に慣れ親しんでいる人は、大人になっても、気軽に利用できるのではないのでしょうか。今後はさらに、市民だれもが気軽に利用でき、暮らしに役立つ図書館として、市の教育、文化の発展に大きく貢献し続ける施設を目指していきます。

皆さん、図書館を利用してみませんか。